



登能にひとりこころ

2023年度決算について

2024年4月30日(火)

目次

I. 2023年度 決算概要

・販売電力量	……02
・発電電力量	……03
・連結決算概要	……04
・令和6年能登半島地震に伴う設備被害、設備損害額	……07
・2024年度 業績予想	……09
・2023年度配当および2024年度配当予想	……11
・セグメント別決算概要	……12
・連結貸借対照表（要旨）	……13
・連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）	……14

II. 参考データ集

（参考）主要諸元・変動影響額	……16
（参考）燃料費と燃料費調整額の期ずれ影響イメージ[実績]	……17
（参考）決算関係データ	……18



I . 2023年度 決算概要

販売電力量

《主な増減要因》

(億kWh,%)

	2023年度 (A)	2022年度 (B)	増減 (A)-(B)	対比 (A)/(B)
小売販売	242.2	262.7	Δ20.6	92.2
電灯	74.6	77.7	Δ3.1	96.0
電力	167.6	185.0	Δ17.4	90.6
卸販売	37.9	64.2	Δ26.4	59.0
総販売電力量	280.0	327.0	Δ46.9	85.7

<電灯>

- ・冷房需要の増加はあるが新型コロナウイルスの5類移行に伴う外出機会の増加, 省エネ・節電意識の高まりにより減少

<電力>

- ・契約電力の減少
- ・工場の稼働減少

<卸販売>

- 卸電力取引所等への販売減少

※送配電事業関連の販売を除く

(参考) 北陸3市の月間平均気温 (°C)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実績	13.9	18.4	22.8	27.9	30.5	26.3	17.1	12.8	7.1	4.7	6.0	7.1
前年差	Δ0.1	0.0	Δ0.7	+0.8	+2.8	+2.0	+0.2	Δ0.5	+1.6	+0.8	+1.7	Δ3.4

(注)北陸3市：富山市・金沢市・福井市

発電電力量

《水力》

⇒ 水力自流式発電の減少。

《火力》

⇒ 石炭火力発電量の減少。

(億kWh,%)

	2023年度 (A)	2022年度 (B)	増減 (A)-(B)	対比 (A)/(B)
[出水率]	[96.2]	[99.7]	[Δ 3.6]	
水 力	57.0	60.3	Δ3.3	94.5
火 力	182.1	231.0	Δ48.9	78.8
原 子 力	—	—	—	—
新工ネ等	0.0	0.0	Δ0.0	94.0
合 計	239.2	291.4	Δ52.3	82.1

連結決算概要

<連結決算>

⇒ 小売料金・託送料金の改定，燃料費調整額のタイムラグによる増収等により
3年ぶりの黒字決算。(連結経常利益1,079億円[タイムラグ影響除き634億円])

		(億円,%)			
		2023年度 (A)	2022年度 (B)	増減 (A)-(B)	対比 (A)/(B)
連結	売上高(営業収益)	8,082	8,176	Δ 93	98.9
	経常利益 (タイムラグ除き)	1,079 (634)	Δ 937 (Δ 586)	2,016 (1,221)	- (-)
	特別損失	451	-	451	-
	親会社株主に帰属する 当期純利益	568	Δ 884	1,452	-

《主な増減要因》

<連結売上高>
総販売減等による
減収

(参考) 連結対象会社数：連結子会社30社，持分法適用関連会社10社

主要諸元	為替レート (円/\$)	144.6	135.5	9.1
	原油 CIF[全日本] (\$/b)	86.0	102.7	Δ 16.8
	石炭 CIF[全日本] (\$/t)	195.6	358.0	Δ 162.3
	LNG CIF[全日本] (\$/t)	648.8	930.5	Δ 281.7

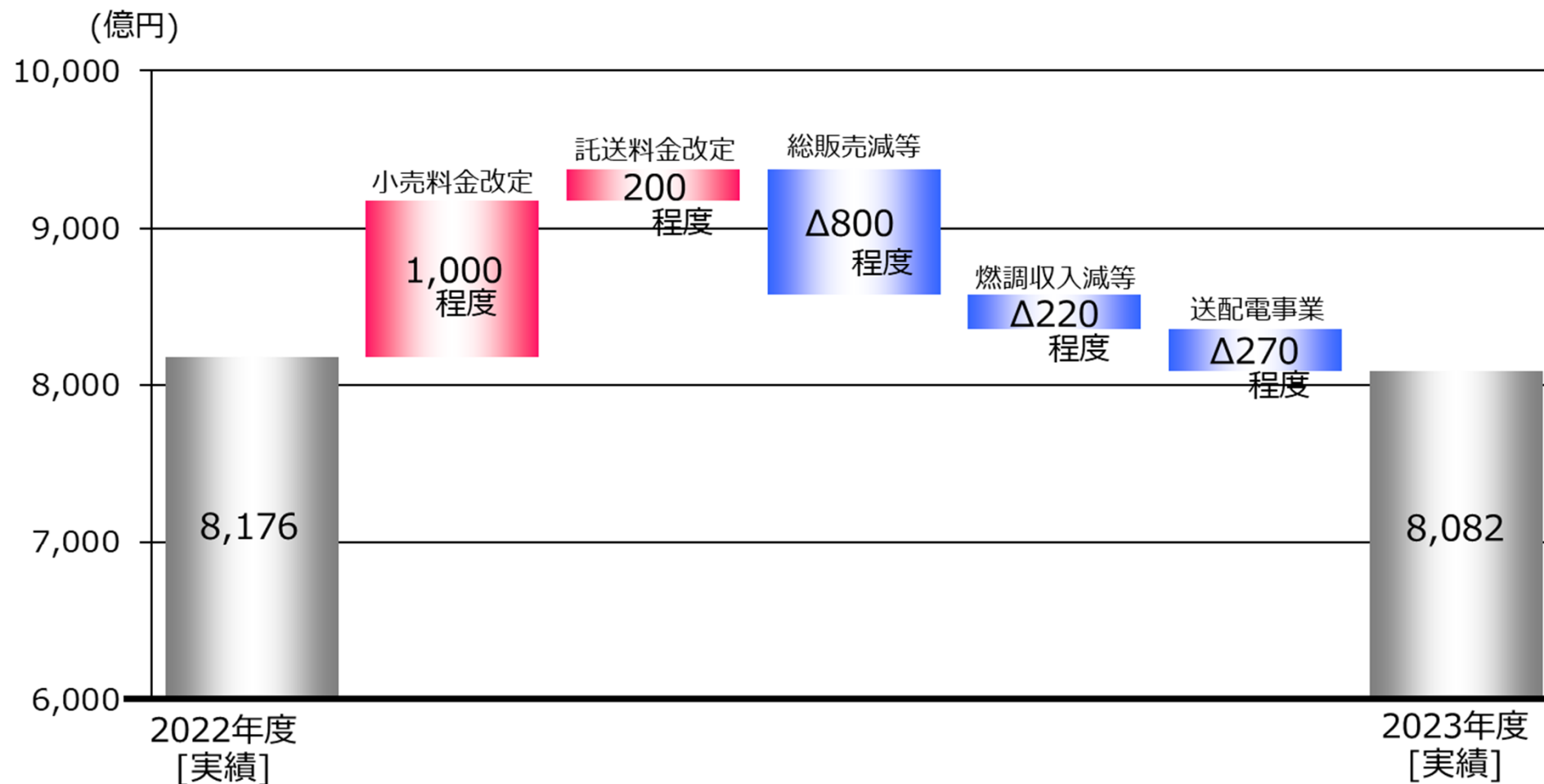
<料金改定実施時期>

自由：2023.4~

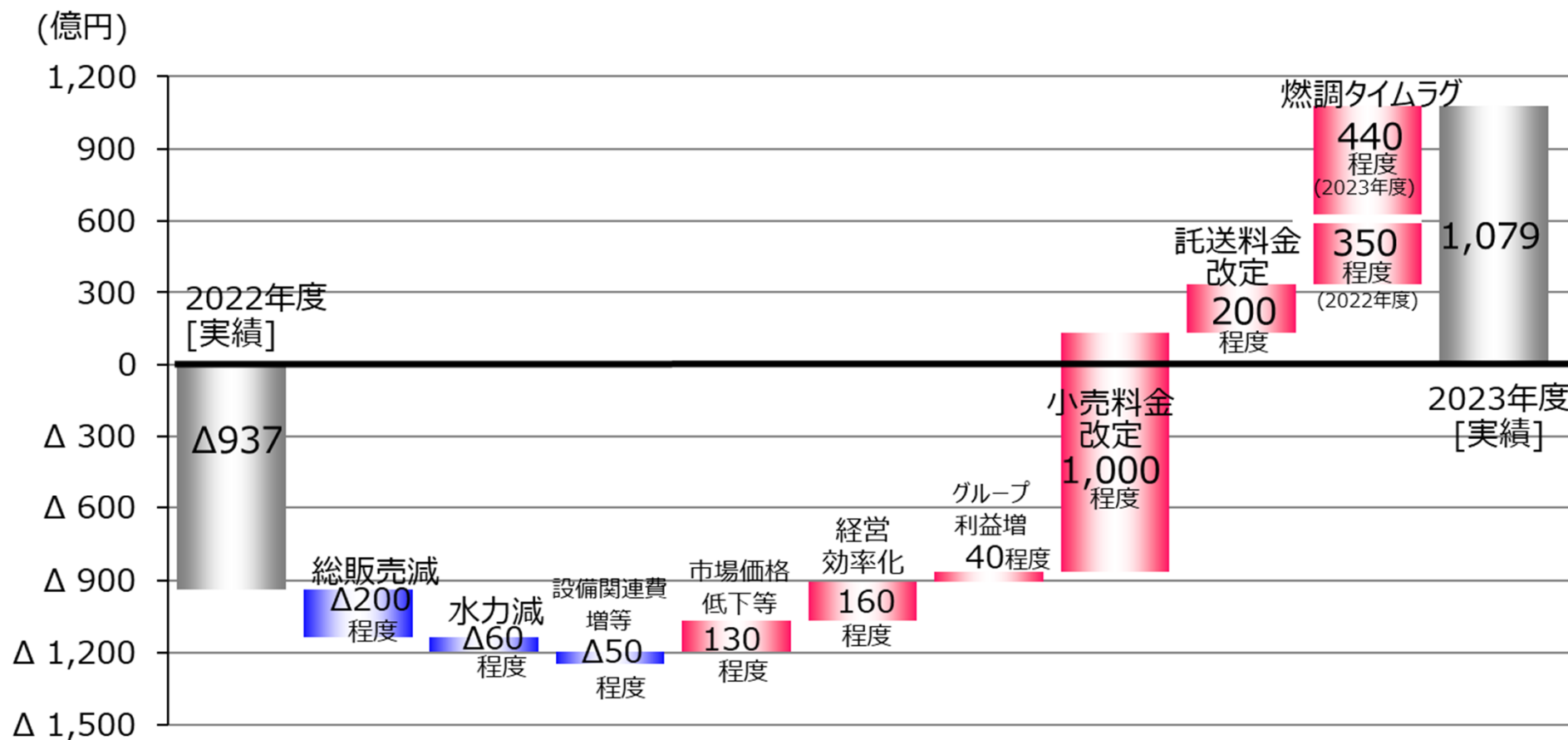
規制：2023.6~

託送：2023.4~

連結売上高の変動要因(前年同期対比 Δ93億円)



連結経常利益の変動要因(前年対比 +2,016億円)



2023セグメント別利益

	発電・販売	送配電	電気事業外	調整額	合計
経常利益	794	224	109	Δ49	1,079

令和6年能登半島地震に伴う設備被害

＜配電設備＞ 電柱の傾斜（約2,310本）や折損（約760本）
高圧線の断線・混線等（約1,680箇所）など。

＜送変電設備＞ 一部、送電線路の碍子割れや変電所の変圧器・ブッシングの破損など

＜火力設備＞ ボイラー配管・石炭払出機・揚炭機など

＜原子力設備＞ 変圧器の損傷（油漏れ）やタービン損傷など

＜配電設備＞



＜配電設備＞



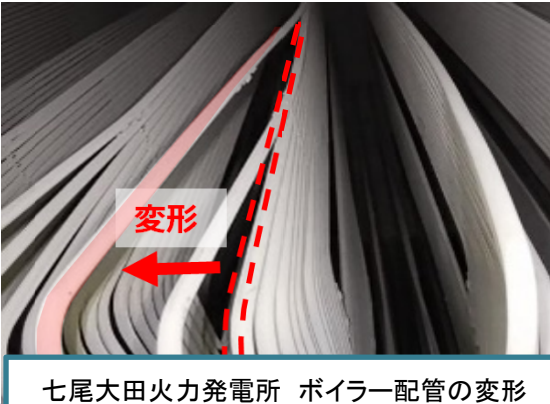
＜送変電設備＞



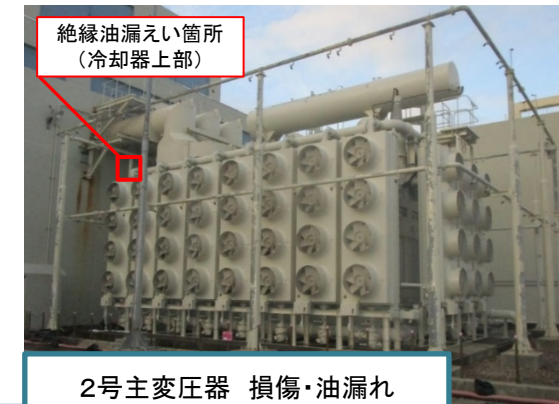
＜火力設備＞



＜火力設備＞



＜原子力設備＞



令和6年能登半島地震に伴う設備損害額

<特別損失>

⇒ ・ 復旧費用のうち、修繕費等451億円を2023年度特別損失に計上。

<設備投資>

⇒ ・ 損傷設備の取替等、設備投資として160億円程度を見込む。

<特別損失>

(億円)

	金額	主な内訳
北陸電力	330	火力160, 原子力130 他
北陸電力送配電	116	配電70, 送変電30 他
合計	451	連結消去後

<設備投資>

北陸電力	北陸電力送配電	合計
100億円程度	60億円程度	160億円程度

<設備損害額>

合計
610億円程度

2024年度 業績予想

<業績予想>

- ⇒ ・総販売電力量は、卸販売の増加を織込み、290億kWh程度。
 ・売上高は、燃調タイムラグによる燃調収入減などから減少。
 ・利益面は、連結経常利益が450億円程度、
 親会社株主に帰属する当期純利益が350億円程度。

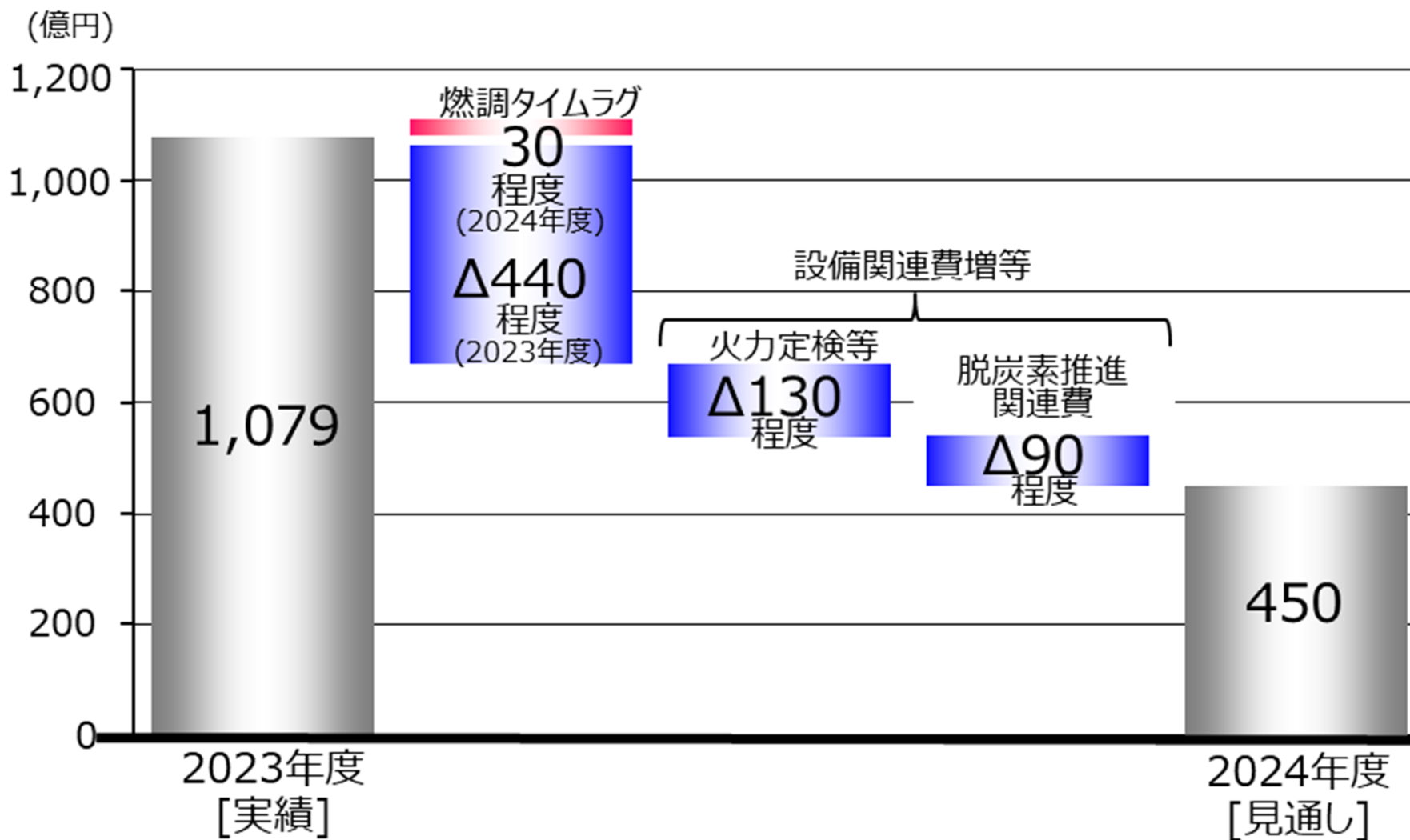
(億kWh,億円)

	2024年度 見通し(A)	2023年度 実績(B)	増減 (A)-(B)
総販売電力量	290	280	10

※総販売電力量は送配電事業関連を除く

連 結	売上高(営業収益)	7,950	8,082	Δ 132
	経常利益	450	1,079	Δ 629
	親会社株主に帰属する 当期純利益	350	568	Δ 218

業績予想(連結経常利益)の変動要因



2023年度配当および2024年度配当予想

<2023年度期末配当>

⇒ ・「1株につき7円50銭」(前回公表通り)

<2024年度配当予想>

⇒ ・ 2022年度の損失により大きく毀損した財務基盤の回復や、能登半島地震による震災損失からの回復を図りつつ、株主のみなさまの期待にお応えしていく観点から、中間・期末ともに「1株につき7円50銭」(年間15円)

<2023年度>

中間配当	期末配当	年間
0.0円/株	7.5円/株	7.5円/株

<2024年度(予想)>

中間配当	期末配当	年間
7.5円/株	7.5円/株	15.0円/株

セグメント別決算概要

(億円,%)

	2023年度 (A)	2022年度 (B)	増減 (A)-(B)	対比 (A)/(B)	
売上高	8,082	8,176	Δ 93	98.9	《主な増減要因》
発電・販売事業	7,325	7,487	Δ 161	97.8	総販売電力量減等
送配電事業	2,041	2,316	Δ 275	88.1	地帯間・他社販売電力料の減少等
その他	1,438	1,306	131	110.1	
調整額 [※]	Δ 2,722	Δ 2,935	212	—	
経常損益	1,079	Δ 937	2,016	—	
発電・販売事業	794	Δ 942	1,737	—	小売料金改定、燃調タイムラグ差等
送配電事業	224	0	224	—	需給調整市場の調達費用減等
その他	109	94	15	116.1	
調整額 [※]	Δ 49	Δ 89	40	—	

※セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去である。

連結貸借対照表 (要旨)

(億円)

	2023年度末 (A)	2022年度末 (B)	増減 (A)-(B)	主な増減理由 (当社分)
固定資産	14,409	14,346	62	
電気事業固定資産	8,718	8,682	35	〔設備計上 381 減価償却 Δ321〕
その他	5,691	5,664	26	
流動資産	4,145	3,706	438	〔現金及び預金 574 貯蔵品 Δ158〕
総資産計	18,554	18,053	501	
有利子負債	11,928	12,854	Δ926	〔社債・長期借入金 Δ620 コマーシャル・ペーパー Δ300〕
その他の負債	3,324	2,645	678	〔災害復旧費用引当金 311 未払税金 125〕
濁水準備引当金	27	29	Δ2	
負債計	15,279	15,530	Δ250	
純資産計	3,274	2,522	751	— 当期純利益 479
[自己資本比率]	[16.6%]	[12.9%]	[3.7%]	
負債及び純資産計	18,554	18,053	501	

連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

14

(億円)

	2023 (A)	2022 (B)	増減 (A)-(B)
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー①	2,233	Δ 970	3,203
税金等調整前当期純利益	630	Δ 937	1,567
減価償却費	599	584	15
その他	1,003	Δ 617	1,620
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー②	Δ 694	Δ 888	193
設備投資	Δ 704	Δ 824	119
長期投資その他	10	Δ 64	74
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	Δ 937	2,457	Δ 3,394
社債・借入金等	Δ 931	2,467	Δ 3,398
自己株式の取得・売却	Δ 0	Δ 0	Δ 0
配当金支払額③	Δ 6	Δ 9	3
IV. 現金等増減額 (I + II + III)	601	598	2
○ フリー・キャッシュ・フロー-(① + ② + ③)	1,532	Δ 1,868	3,400

(注) 億円未満切捨

Ⅱ. 参考データ集

(参考) 主要諸元・変動影響額

<主要諸元実績>

	2023年度 (A)	2022年度 (B)	増減 (A)-(B)
総販売電力量 (億kWh)	280.0	327.0	Δ46.9
為替レ－卜 (円/\$)	144.6	135.5	9.1
石炭 CIF[全日本] (\$/t)	195.6	358.0	Δ162.3
原油 CIF[全日本] (\$/b)	86.0	102.7	Δ16.8
LNG CIF[全日本] (\$/t)	648.8	930.5	Δ281.7
出水率 (%)	96.2	99.7	Δ3.6

<変動影響額>

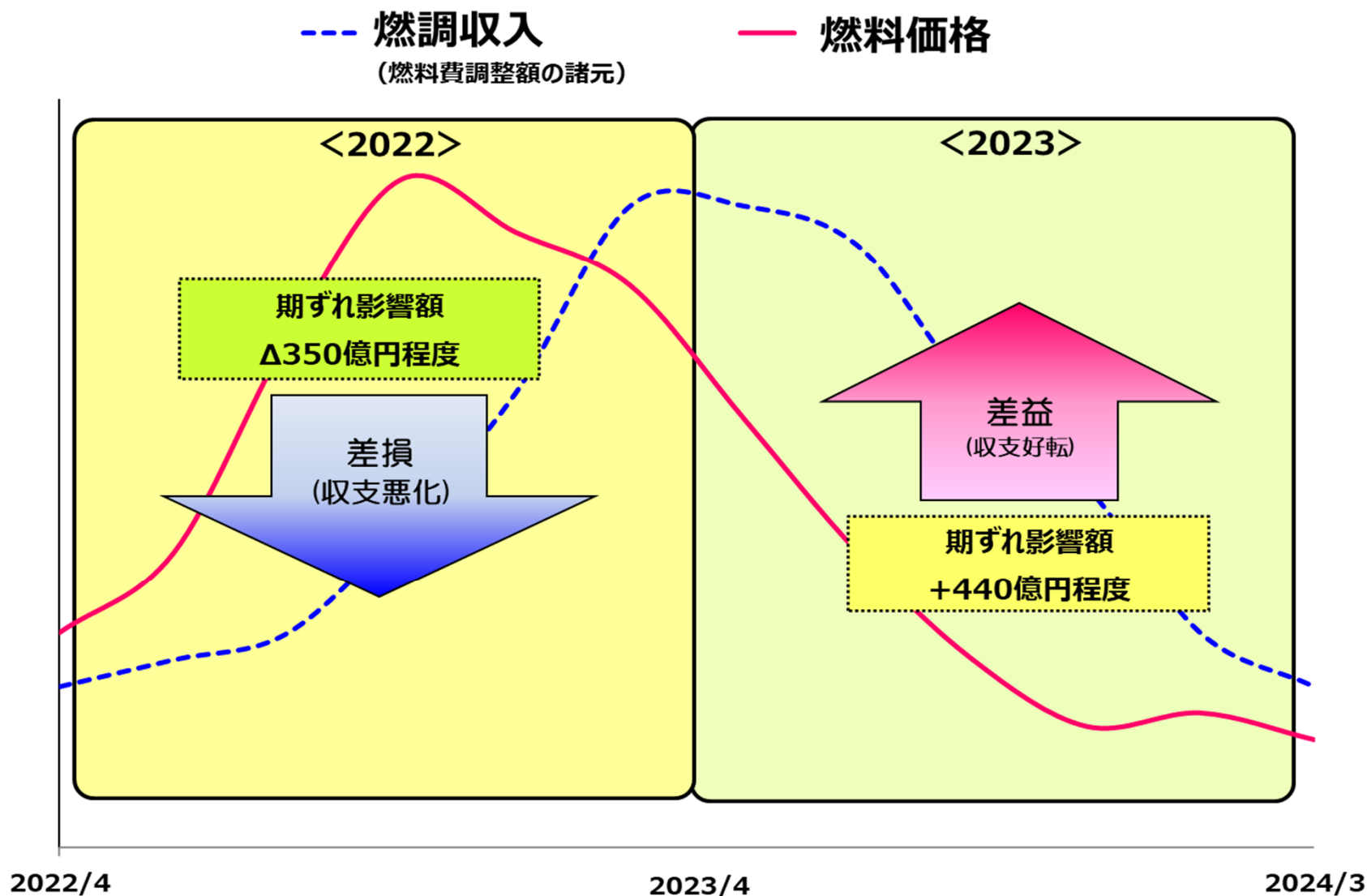
(億円/年)

	2023年度 (A)	2022年度 (B)	増減 (A)-(B)
為替レ－卜 (1円/\$)	13程度	29程度	Δ16程度
石炭 CIF[全日本] (1\$/t)	7程度	9程度	Δ2程度
原油 CIF[全日本] (1\$/b)	1程度	2程度	Δ1程度
出水率 (1%)	10程度	14程度	Δ4程度

<燃料消費実績>

	2023年度 (A)	2022年度 (B)	増減 (A)-(B)
石炭 (万t)	495	642	Δ148
重油 (万kl)	12	28	Δ17
原油 (万kl)	－	－	－
LNG (万t)	43	38	4

(参考)2023年度 燃料費調整額の期ずれ影響イメージ (前年対比)



(注)当該期ずれ影響は、実際の燃料費調整額と燃料価格の適用に遅れが無いと仮定した場合の金額であり、実際の燃料費等により算定される収支影響とは異なる。

(参考) 決算関係データ

<連結損益計算書関係> (億円)

	2019	2020	2021	2022	2023
売上高	6,280	6,394	6,137	8,176	8,082
営業利益	294	178	△164	△737	1,149
経常利益	232	123	△176	△937	1,079
親会社株主に 帰属する当期純利益	134	68	△67	△884	568

<連結貸借対照表関係> (億円,%)

	2019	2020	2021	2022	2023
総資産額	15,929	15,956	16,600	18,053	18,554
純資産額	3,364	3,557	3,432	2,522	3,274
自己資本比率	20.2	21.2	19.6	12.9	16.6

<設備投資> (億円)

	2019	2020	2021	2022	2023
設備投資額 [連結]	765	842	906	831	788



- ・億円未満の数値は切捨て表示をしております。
- ・本資料に記載されている業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、リスクや不確実性を伴う将来に関する予想であります。実際の業績は、今後の様々な要因によって予想と異なる可能性があります。
- ・本資料は、あくまで当社の経営内容に関する情報の提供のみを目的としたものであり、当社が発行する有価証券の購入や売却を勧誘するものではありません。
- ・内容につきましては、細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではなく、記載された情報の誤りおよび本資料に記載された情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社は一切責任を負いかねますので、ご了承ください。

お問い合わせ先

北陸電力株式会社 経理部 財務チーム

〒930-8686 富山市牛島町15番1号

TEL : 076-441-2511

FAX : 076-405-0127



北陸電力株式会社

インターネットホームページの当社アドレス <https://www.rikuden.co.jp/>